Chita

ーちょうどいいまちー

広報ちた

1

2025（令和7年）　No.1387

特集

このまちで共に生きる

知多市の多文化共生

広報ちた１月号

Chita
―ちょうどいいまち―

2025（令和7年）　No.1387

目　次 Contents

04　特集　このまちで　共に生きる
14　新春のごあいさつ
15　新庁舎実施設計が完了
16　パブリックコメント
　　一時保育事業の案内
17　市民税・県民税の申告
　　住宅借入金等特別控除申告説明会
　　くらしの掲示板
18　(株)エフエスケー第50回市民美術展審査結果
　　知多市二十歳のつどい
19　公立西知多総合病院だより
20　くらしの情報
25　相談
26　公共施設 Information!!
28　スポーツ
30　健康
31　うちのスタアを紹介します
32　ちょうどいいまちNews
34　ふゅうちゃん掲示板
35　わがまちイチ押しグループ
36　シリーズ輝人（かがやきびと）
　　この写真がお気に入り‼「私の1枚」

今月のお知らせ

市の人口

12月1日現在　（　）内は前月比

人　口　83,101人（－23人）
世帯数　37,395世帯（+46世帯）

今月の納税

1月31日（金）まで

市民税　県民税　森林環境税
（普通徴収）（４期）
国民健康保険税（７期）

今月の延長窓口

（市民窓口課の業務だけ）

実施日　16日（木）
時　間　19:15まで
業務内容　住民異動や戸籍届の受付、印鑑登録の申請、各種証明書の発行など。詳しくは市ホームページを参照
問合せ　市民窓口課
（☎0562-36-2646）

市政情報は
市公式SNSで配信中

LINE　X　Instagram　YouTube　Facebook

※QRコードは㈱デンソーウェーブの登録商標です。

広報ちたは、目の不自由な方も聴くことができるよう、音訳ボランティア「声のたより青空」がCDに録音しています。　問合せ　市社会福祉協議会（福祉活動センター内・☎0562-33-7400）

▲夜間にライトアップされた竹林が、幻想的な空間を創り出す（撮影：ちたの竹林）

Information

CATV　デジタル12ch知多メディアスネットワーク（①1/1～14 ②1/15～31）

今月のほっとラインちた（市公式YouTubeチャンネルでも公開中）
9:00～、15:00～、21:00～（1日3回放送）

ほっとラインちたは市政情報をわかりやすくまとめた15分の映像番組です。

①思い新たに　二十歳のつどい（再放送）
②知多市ジュニアサークル（コーラス・かるた・囲碁・箏）
　会員募集

ハロー！とうかい　8:30～、14:30～、20:30～
①ともにつながり　笑顔と希望あふれるまち　とうかい
　～第７次東海市総合計画～（再放送）
②救急車の適正利用にご協力を！
　～大切な人の命を守る救急救命士～（再放送）

スマイルおおぶ　8:45～、14:45～、20:45～
①こども結集！新たな音楽団が誕生
②地域を守る　大府市消防団（再放送）

あったかいいまち　ひがしうら　9:15～、15:15～、21:15～
暮らしに役立つ内容を文字情報でお伝えします。

メディアスエフエム（FM83.4）

暮らしに役立つ情報を発信しています。

視聴アプリ

特集

このまちで共に生きる

知多市の多文化共生

知多市で生活を送る外国人の数は年々増加し、その国籍も多様化しています。日々の暮らしの中で外国人の姿を見ることは当たり前の光景となってきました。市内の外国人は現在2400人を超え、過去最高となりましたが、文化や生活習慣の違いによるトラブルや治安の悪化を心配する声があるのも事実です。

このまちで共に生きる仲間として、外国人とより良い関係を築いていくためには、どうしたらよいでしょうか。誰もが暮らしやすいまちづくりについて考えてみませんか。

問合せ　市民協働課（市民活動センター内・☎0562-31-0382）

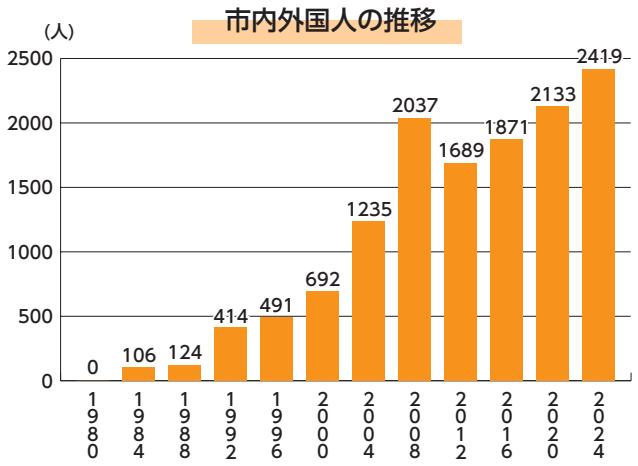
知多市に暮らす外国人

外国人の現状

●外国人の人口は過去最高に

市への外国人の本格的な流入は1980年代に始まりました。2004年には外国人人口は1000人を超え、そこから20年間で約2倍に増えました。

6年10月1日現在の外国人は2419人で、これは市内全体の人口（約8万3000人）の約3パーセントです。学校で例えるならば、1学級35人の中に1人は外国人のクラスメイトがいることになります。



そのギャップを埋める考え方が **多文化共生**

Q. なぜ、多文化共生の考え方が必要なの？

A. 文化や習慣の異なる人々が同じ地域で暮らしていると、さまざまな悩みも生まれます。

ギャップを乗り越え、お互いが気持ちよく暮らすためには、相手を受け入れて認め合う多文化共生の考え方が大切です。

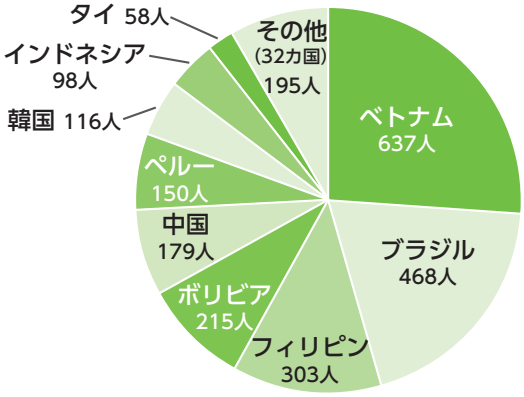
知多市国際ネットワーク協議会 AELU（アエル） CHITA（チタ）がつつじが丘コミュニティセンターで運営するこどもサロンの子どもとスタッフ。外国にルーツを持つ子どもや地域の子どもが放課後に立ち寄って宿題をしたり、遊んだりできる「地域の居場所」となっている。

●41の国籍の人がいる

市内ではさまざまな国から来た外国人が暮らしています。近年はベトナム人の流入が進み、これまで首位を占めていたブラジル人の人口を超えて全体の約4分の1となりました。次いでフィリピン、ボリビア、中国と続き、主に東南アジアや南米、東アジアの国が多くなっています。

その他にもスリランカやパキスタンなどの南アジア、アメリカやカナダなどの北米、スペインやルーマニアといったヨーロッパなど、41の国から来た人たちが、市内で暮らしています。

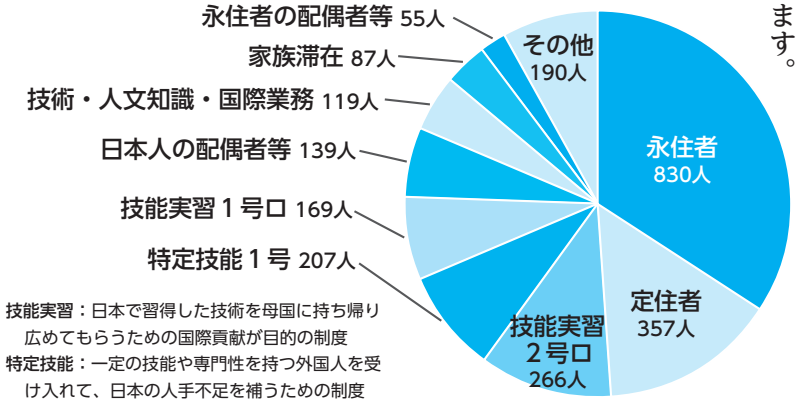
市内外国人の国籍別人口（10/1現在）



●日本で長期間暮らす人が多い

市内で暮らす外国人の3分の1以上が、日本での在留期間が無期限の永住者です。在留期限は設けられているものの、永住者と同じく就労制限のない定住者も合わせると、全体の約半分となります。これらの在留資格を持つ人は、日本に長く暮らし、日本人と同じように働くことが期待されます。

市内外国人の在留資格別人口（10/1現在）



技能実習：日本で習得した技術を母国に持ち帰り広めてもらうための国際貢献が目的の制度
特定技能：一定の技能や専門性を持つ外国人を受け入れて、日本の人手不足を補うための制度

外国人とつながる

市民活動団体にインタビュー

知多市では多文化共生を推進する市民団体がそれぞれに理念を持って活動しています。熱い思いを持つ皆さんを紹介します。

学習支援

知多市にほんごの会

平成15年（2003年）設立。外国人向けの日本語教室を定期開催し、日本語を教えるほか、日本の習慣や生活情報も伝えている。日本の文化に触れてもらうため、新年交流会や夏祭りなどのイベントも実施している。

県の国際交流協会の研修を受講したメンバーで立ち上げた会です。それまで本格的な日本語教室が市内になかったこともあり、ここで日本語を学んだ人がどんどん知り合いを連れてきてくれて、学習者が増えていきました。日本語が全く話せない人や日本語学習にブランクがある人、市外からやってくる人などどんな方でも大歓迎で、「来るもの拒まず」の精神がモットーです。

会員全員がボランティアだからこそ、活動を続けるために自分たちが楽しむことを大切にしています。まずは会員自身が楽しむことで、学習者も楽しく活動することができます。教室に来た全員に「今日も楽しかった」という思いで帰ってほしいと思います。

教室では先生と生徒が1対1で、それぞれのレベルやニーズに合わせて学習を進めていきます。日本語の学習はつながりを持つきっかけとなります。日本での生活の相談に乗ったり、反対に海外の文化を学んだり、教室は会員・学習者双方にとっての「居場所」になっていると感じます。

昨年、会発足20周年の記念式典で、教室の卒業生がスピーチを披露してくれました。ゼロから学び始めた子が無事に高校受験を終え、日本語で自分の意見を話す様子を見て、とてもうれしく思いました。母国に帰ってからも連絡をくれる人や、また日本に来たいと相談してくれる人もいて、縁が続いていくことをありがたく思います。

これまで延べ1100人以上が教室に参加してくれましたが、市内で長く暮らしていても交流がないままだったり、何も関わりがないうちに帰国してしまう人も大勢います。せっかく同じ地域に暮らしているのに、それでは寂しい。会の活動をもっと知ってもらい、つながりを持つ場になれたらと思います。

代表　榊原裕子（さかきはらゆうこ）さん

知多市にほんごの会の皆さん

シェフチェンコ・ディアナさん
（ウクライナ・入会5年目）

Q. 日本に来たきっかけは？
A. ドイツで日本人の夫と出会い結婚して、7年前に日本にやってきました。
Q. にほんごの会はどんなところですか？
A. 先生が優しくて大好き！今は漢字を勉強中です。

和田美穂（わだみほ）さん
（日本・入会3年目）

Q. 活動に参加したきっかけは？
A. 市のボランティア講習会に参加したことです。
Q. 活動の感想は？
A. いろいろな人の考え方や人生を知ることができて楽しいです。常識だと思っていたことが覆され、とても刺激的です。

防災
情報発信
居場所支援
ほか

知多市国際ネットワーク協議会 AELU CHITA（アエル チタ）

平成18年（2006年）設立。外国人と日本人の会員が一緒に、外国人の子どもの居場所づくり、防災について学ぶ機会づくり、多言語による情報発信などの取り組みを行っている。

AELUは外国人の防災がきっかけで発足しました。言葉や文化の違いから、外国人が災害弱者になってしまわないよう、通訳付きの防災講座を開いたり、地区の防災訓練に参加したりして、防災への意識を高めています。

また、AELU通信として、スペイン語、ポルトガル語、タガログ語、中国語、ベトナム語、英語などの言語で、イベントのお知らせをSNSで発信しています。

こどもサロンは、外国人や地域の子どもが放課後に自由に立ち寄って交流できる「第3の居場所（自宅、学校の他で安心して過ごせる居場所）」となっています。

外国人が日本人と一緒に活動しているのがAELUの特徴で、私自身も中国の出身です。活動に参加したことで、家族の他にも仲間とのつながりを持つことができ、自分の生活が豊かになったと感じます。同じ外国人として、異国の地で外国人がどんな不安を感じているのか、何を求めているのか、ニーズを掴んで、少しでも役に立つ活動をしたいと思っています。地区のコミュニティ会長から、外国人にコミュニティの存在を知ってもらい、入ってもらうにはどうしたら良いか相談を受けたこともあります。

これまで外国人だけをターゲットにしたイベントが主でしたが、外国人会員から、日本語を覚えたり、日本人ともっと交流したいという声がありました。そこで、今年は日本人向けにブラジル料理教室を開催し、多くの方が参加してくれました。今後は、日本人と外国人が交流できるようなイベントにも力を入れていきたいと思います。

郷に入っては郷に従えという言葉がありますが、それぞれの生活習慣や文化でどうしても変えられないものはあると思います。違いを認めてお互いに尊重し合い、国籍は関係なく、暮らしやすいまちにしていきたいです。

代表　髙津弥生（たかつやよい）さん
（中国出身）

知多市国際ネットワーク協議会　AELU CHITAの皆さん

日高（ひだか）ビルマさん
（フィリピン・入会18年目）

Q. 日本に来て困ったことは？
A. 日本語が話せなかったことです。また、みんなが時間を守る、身だしなみがきちんとしている、電車が遅れないことに驚きました。
Q. 入会して良かったことは？
A. 活動を通して日本のコミュニティに入ることができ、周りから声を掛けられるようになったことです。

田野（たの）・タイナ・マキコさん
（ブラジル・入会12年目）

Q. 活動に参加したきっかけは？
A. 小学生の頃から夏休み宿題サロンに通っていました。両親が日本語が分からなかったので、習字やポスターを教えてもらえてとても助けられました。
Q. AELUはどんなところですか？
A. 多くの国の人が集まり、名前の通りみんなに「会える」場所です！

友好交流

知多市カタール友好交流会

平成19年（2007年）設立。愛知万博の一市町村一国フレンドシップ事業がきっかけで発足した。産業まつりなどのイベントや放課後子ども教室での出前講座で、カタールを知ってもらう活動をしている。

会長　仁藤裕二（にとうゆうじ）さん

平成17年の愛知万博で、知多市が中東のカタールの担当になったことを機に知多市とカタールの交流が始まり、2年後に市民主体の団体として知多市カタール友好交流会が発足しました。

カタールはアラビア半島の東側にある小さな半島の国で、石油や天然ガスを発見・産出して、とても豊かになりました。かつては貧しい砂漠の遊牧民でしたので、家族の絆は強く、旅人を優しく受け入れてくれる国民性は今でも変わりません。

私自身はかつて石油会社に勤めており、石油産出国からの研修生受け入れ事業を行う機関に出向しました。カタール人研修生とも交流があり、中東を身近に感じて当会に入りました。

会の活動では、例年10月末の産業まつりなどのイベントに出展して、アラビアンコーヒーの試飲やデーツ（ナツメヤシの実を乾燥させたもの）の試食、民族衣装の試着をしてもらっています。また、まちかどギャラリーに写真を展示して、カタールを知ってもらうための情報発信をしています。放課後子ども教室で行う出前講座では、カタールの紹介や民族衣装の試着体験をしています。子どもたちが喜んでくれて、カタールについて知ってくれるのが何よりうれしいです。子どもたちには、世界中に友だちを作り、戦争のない世界を作ってほしいと思います。

現在、国内でカタールとの交流事業を行っているのは、私たちと広島県安佐北区安佐（あさ）町のカタール会の2団体だけです。万博から始まったこのご縁を大切にし、今後も活動を継続していきたいです。シュクラン（アラビア語で「ありがとう」）。

出展情報

愛知万博20周年記念事業

集まれ！あいちの魅力博。

とき　5/24（土）・25(日)

ところ　愛・地球博記念公園（長久手市）

知多市カタール友好交流会の皆さん

安永和美（やすながかずみ）さん
（日本・入会17年目）

Q. 活動に参加したきっかけは？
A. 市の国際交流協会に所属していた縁で、会の発足から参加しています。
Q. カタールの印象は？
A. これまで4回カタールを訪れました。アニメをはじめ日本文化を積極的に取り入れようとする親日国です。

竹内篤史（たけうちあつし）さん
（日本・入会2年目）

Q. 活動に参加したきっかけは？
A. サッカーが好きで、2022年のワールドカップ開催がきっかけでカタールに興味を持ち、入会しました。
Q. 活動の楽しさは？
A. 子どもたちにカタールについて知ってもらうことです。自分自身も勉強させてもらっています。

学習支援

ちたビジョンプロジェクト

平成23年（2011年）設立。外国人の子どもを対象に学習支援教室「エスペランサ」を運営し、学習をサポートしている。現在は年長児を対象にしたプレスクール「キッズエスペランサ」をメインに活動中。

ちたビジョンプロジェクトは、外国にルーツを持つ小中学生の宿題を支援する教室として始まりました。外国人の子どもの場合、コミュニケーションは取れても、学習言語としての日本語につまづきがあり、宿題ができないという問題があります。周りから不真面目だというレッテルを貼られ、自己肯定感が低くなってしまい、将来の夢や希望が持ちづらくなってしまいます。

私たちは外国にルーツを持つ子どもたちの居場所づくりを理念に掲げ、その手段として学習支援事業を行っています。家庭や学校の他に、地域の中に頼れる大人とのつながりを持ち、自分のことを肯定的にとらえて、この地域で生き生きと暮らす手助けにしてほしいと思います。

代表
加藤紗織（かとうさおり）さん

キッズエスペランサ
リーダー
尾﨑（おざき）あいさん

現在、定期的に開催しているキッズエスペランサは、小学校への入学を控えた子どもが対象です。日本人の子どもは小学校入学前にひらがなをある程度理解し、自分の名前も書けます。しかし、外国人の子どもは、学校の授業で初めてひらがなを見たという場合が多く、ひらがなが学習の最初の足かせとなってしまうのです。キッズエスペランサではひらがな習得を中心に、就学後に日本人の子どもと同じように教育を受けられる手助けをしています。

私たちの活動は子どもへの支援ですが、大人対子ども、先生対生徒ではなく、あくまで対等な家族や友だちのような立場で接することを大切にしています。

活動開始から10年以上が経ち、子どもたちの抱える問題や保護者が心配していることも当時とは変わってきています。年齢が若いほど、自分の状況を自力で変えることは難しく、サポートが必要です。今の彼らの前にある壁が何なのかを捉え直し、支援を続けていきたいと思います。

キッズエスペランサで学ぶおともだち

ケンゾウさん（ボリビア）

プックさん（ベトナム）

ミアキさん（フィリピン）

ドゥックさん（ベトナム）

共に働く

食品メーカー×外国人材

日本全体で人手不足が進む中、外国人材は必要不可欠な存在です。多くの外国人材が働く(株)一富士製麺所の皆さんに話を聞きました。

(株)一富士製麺所

昭和23年創業。現在は大手コンビニエンスストアを主要取引先として調理麺や惣菜などを製造販売している。

取締役　工場長兼管理部長
松田晃治（まつだこうじ）さん

当社では平成22年よりベトナムからの人材採用を始めました。現在では総従業員約420人のうち、5人の外国人正社員と約130人の実習生および特定技能の方が働いています。8割以上がベトナム人で、他にフィリピンやタイ、南米地域の出身者などがいます。

外国人材を採用するからには、働きやすい職場や住みやすい環境を提供する責任があります。住む場所や言葉の不安を解消するため、当社では、日本人と外国人の社員による外国人材活躍推進チームを設置しています。社内には外国人材による農業部やサッカー部もあり、まずは会社への愛着を持ってもらうことを目指しています。

日本で長く暮らしたい、家庭を持ちたいと彼らに思っていただけたら、今度は地域や保育園、学校とのつながりを持つことが必要です。外国人材が多く住んでいる日長台地域で日本語教室を開催したところ、住民の方が様子を見に来てくれて、交流が生まれました。その他にも運動会やゴミ拾いなど地域のイベントにも積極的に参加し、地域との関係づくりに努めています。

外国人材が増えたことで見えてきた新たな課題もあります。同じ国の出身者が増え、自分たちの言葉だけで生活が成り立つようになると、日本語習得への意識がどうしても低下してしまいます。当社ではベトナム人を多く採用していますが、その結果、ベトナム人だけのコミュニティとして地域で孤立してしまう可能性があるのです。

日本語習得や地域との結び付きをどう意識付けしていくかが、今後の課題です。企業としての努力はもちろん、地域や自治体との連携も深めて、彼らの暮らしを支援していきたいと考えています。

▲農業部の活動の様子。ナスやトマト、ベトナムの野菜である空心菜などを作っている。

あなたのことを教えてください！

製造部　ヴ・ゴック・アインさん
（ベトナム出身・入社３年目）

製造の現場がきちんと作業できているか、困ったことはないかなどの管理を担当

日本に来たばかりの頃はお金の計算に苦労しました。スーパーに買い物に行っても、毎回１万円札で支払ってしまうのでお釣りで小銭がいっぱいになりました。

会社のサッカー部にも所属しています。地元の他の外国人チームと試合をすることもあり、とても楽しいです。

日本の好きなところは景色が良いところです。三重県まで山登りに行ったこともあります。市内だと梅まつりによく行きます。最近は梅子マラソンを見に行きました。

日本の料理で一番好きなのは天ぷらで、特に大葉の天ぷらがお気に入りです。ベトナムでも料理にシソを使うので親しみがあります。

たくさん働いてお金を貯め、自分のお店を持つことが夢です。ベトナム料理のレストランや外国人向けの食品や雑貨を扱うお店を開きたいです。

管理部
グエン・ティ・ホン・トゥさん
（ベトナム出身・入社２年目）

ベトナムの日系企業で働いており、日本人の同僚の何でもきちんとやる働きぶりに感動し、いつか日本で働きたいと思っていました。

もともと日本語の勉強はしていましたが、来日直後は周りの人が話すスピードに付いていけず苦労しました。また、出身地のホーチミンはベトナム南部の１年中暖かい地域なので、日本の冬がとても寒くて驚きました。

仕事の内容は、特定技能や技能実習として働く人材の支援です。研修やビザ更新、初級および専門級試験を担当しているほか、仕事や生活の相談に乗ったり、新しく来日した従業員に日本の生活を教えたりしています。

日長台地域での日本語教室では、先生役を任されました。私自身の日本語もまだまだなので、管理部の日本人社員の方にたくさん教えていただき、とても勉強になりました。住民の方も見学に来てくれて、コミュニケーションを取れたのがうれしかったです。他にも日本語検定に向けて希望者の勉強会も開いていて、前回は10人がＮ４レベル（基本的な日本語を理解できる程度）に合格しました。

農業部では部長を務めています。畑を貸してくれた地元の方が様子を見に来てくれることもあります。

ベトナム人のイメージを良くすることと、従業員の皆さんに日本語を話せるようになってもらい、気持ちよく働いてもらえるようにすることが私の目標です。また、日本で働く外国人は、母国の家族に何かあってもすぐに帰国することができません。一富士製麺所の一員として、そのような従業員の皆さんの悩みや不安を少しでも減らし、一生懸命働いてもらえるよう、応援していきたいです。

▲日長台地域での日本語教室の様子

子どもたちの日本語習得

日本語初期指導教室えがお

市内の小中学生のうち、約150人が外国にルーツがあります。市では、外国人の子どものための日本語初期指導教室「えがお」をつつじが丘小学校に設置しています。

子どもたちは市内の小中学校とえがおを行き来しながら、日本での学校生活や社会生活で最低限必要とされる「サバイバル日本語」の習得を目指します。

えがお指導員

玉城志帆（たましろ しほ）さん　佐方瞳（さかた ひとみ）さん　山口佳苗（やまぐち かなえ）さん

各学校の日本語適応教室だけでは、子どもの日本語の習得度に差があり、その先を学ぶ子どもに指導が行き届かないという問題がありました。その解消のために平成29年に設置されたのが、日本語初期指導教室えがおです。日本の学校生活に不慣れな来日したばかりの子どもなどが対象で、3カ月から半年程度の期間、集中して日本語習得に取り組みます。その後の日本語適応教室や通常学級での学習につなげることがえがおの目的です。相手に自分の意志を伝え、困ったときに周りに助けを求められるよう、1対1でのコミュニケーションができるようになることを目指しています。

えがおでの学習をスタートさせる前に、必ず保護者を交えて面談を行い、いつまで日本で暮らす予定なのか、また子ども本人は将来どうしたいと思っているのかを話し合います。特に中学生の場合は進路選択という課題がすぐにやってきます。大人の都合だけでなく、子どもたち自身の意志を親に知ってもらいたいと思っています。

来日したばかりの家庭は、精神的にも経済的にも不安定であることが珍しくありません。日本語学習以外の支援が必要な場合もあり、学校の先生と連携して、日々試行錯誤しています。

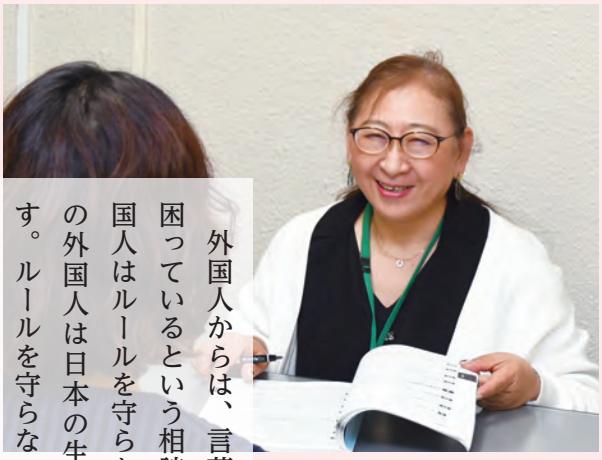
日本でずっと暮らしていくには、日本語の習得は必要不可欠です。私たちにできるのは、その入り口を作ることだけですが、子どもたちは本当によくがんばっていると思います。

▲修了式の様子。これまでに80人以上の子どもたちがえがおを利用してきた。

誰もが暮らしやすいまちへ

私たちにできること

多文化共生で大切なのは、お互いを尊重して歩み寄ること。外国人にとって暮らしやすいまちは、みんなが暮らしやすいまちであるはずです。



外国人相談員
篠原早百合（しのはらさゆり）さん
（ブラジル出身）

日系ブラジル人で33年前に来日。市役所や市内の保育園で外国人相談員を務める傍ら、AELUのメンバーとしても活動している。

外国人からは、言葉の壁で情報を入手できず困っているという相談が多く寄せられます。外国人はルールを守らないと言われますが、多くの外国人は日本の生活のルールを守っています。ルールを守らない一部の外国人も、文化の違いから、結果として日本でのルールを悪気なく破ってしまっている場合がほとんどです。

私は顔立ちから日本人だと思われることが多いですが、完璧な日本語が話せるわけではありません。逆に、日本で生まれ育ち、日本語しか話せなくても、見た目が外国人だから日本語が通じないと思われる人もいます。見た目や思い込みから、当たり前に日本語が話せるだろう、外国人だからルールを守らないだろうと決め付けられるのは、とても怖いです。

いろいろな人が一緒に暮らしていることに、みんな気付きはじめています。言葉の壁と文化の違いがあることを理解し、寛容さを持つことが、安全で楽しいまちづくりにつながっていくと思います。

「ちょうどいいまち」から「ちょういいまち」へ

日本人が「当たり前」だと思っているマナーやルールは、外国人にとっての「当たり前」ではありません。外国人は日本での「当たり前」を誰からも教わっていないからです。

言語や文化が違う見知らぬ土地での暮らしは多くの人が不安を抱えます。日本では何が正しいのか、何が間違っているのか、外国人自身が手探りで理解しなくてはいけない現状を「当たり前」にしてはいけません。

国や人種、宗教などあらゆる違いを受け入れることができれば、知多市は「ちょうどいいまち」を超えて、「ちょういいまち」になるのではないでしょうか。

市民協働課・協働まちづくりチーム
田中亜耶（たなかあや）さん

使ってみよう やさしい日本語

やさしい日本語は、外国人にも分かるように配慮した簡単な日本語です。市内の外国人のほとんどが東南アジアや南米など、英語圏以外の国から来た人たちです。無理に英語を使おうと構えるよりも、やさしい日本語を活用することで、コミュニケーションが取りやすくなります。

簡単で分かりやすいやさしい日本語は、外国人だけでなく、子どもやお年寄り、障がいを持つ方にとっても伝わりやすい、これからの社会に必要なものです。

例えば…

高台に避難してください。

▼

高（たか）いところに　逃（に）げてください。

POINT!

- 簡単な言葉を使う
- 一つの文を短く区切る
- あいまいな表現は避ける
- 全ての漢字に振り仮名を振る

新春のごあいさつ

知多市長
宮島壽男（みやじまとしお）

市制施行55周年に感謝

新年、明けましておめでとうございます。皆さまには、健やかな新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

昨年も多くの地域や団体のイベントに足を運び、皆さまの生き生きとしたお顔に元気をいただいた一年となりました。こうした皆さまの活動の一つ一つが本市の活気につながっていることを胸に刻み、今後も笑顔とにぎわいにあふれるまちづくりを進めてまいります。

朝倉駅周辺整備事業では、新庁舎建設に向けた取り組みを進めてまいります。今年は、いよいよ建設工事に着手し、9年度の完成を目指します。加えて、ホテルの誘致も決まり、朝倉駅を中心としたにぎわいの創出を一層推進してまいります。

また、教育分野では、老朽化した校舎の改修を進めるとともに、体育館などへの空調設備の整備を進め、快適で安全な教育環境を整えてまいります。

さて、知多市は本年9月に市制施行55周年を迎えます。記念すべき年を迎えることができましたのも、知多市の発展にご尽力いただいた全ての方々のご理解とご協力の賜物であり、改めて深く敬意を表します。55周年を記念する事業として4月には「大相撲知多場所」が開催されます。このほかにも、さまざまな事業を通じて皆さまに「知多市に住んで良かった」と思っていただけるよう、誠心誠意、市政にまい進してまいります。

今年一年が皆さまにとりまして喜びと幸せに満ちた年となりますことをお祈り申し上げまして、年頭のごあいさつとさせていただきます。

知多市議会議長
伊藤清一郎（いとうせいいちろう）

災害に強い地域を目指して

新年、明けましておめでとうございます。皆さまには、晴れやかな初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃から市議会活動にご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は自然災害の多い年となりました。1月1日に能登半島地震が発生し、甚大な被害をもたらしました。また、9月の能登半島豪雨をはじめ、全国各地で記録的な豪雨が発生し、多くの住民の方が被災されました。

被災されました皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。

私たち議会は、これらの災害を受け、防災・減災のための対策強化を図るべく体制を見直しています。議会として、また議員として災害発生時に迅速で的確な対応が可能となるよう、これからも皆さまと力を合わせ、災害に強い地域づくりを目指して尽力してまいります。

また、議会運営においては、市民の皆さまに寄り添い、開かれた議会、より信頼される議会となるよう、これまで以上に皆さまとの対話を重視し、いただいたご意見を政策に反映させるべく努めてまいります。議会の活動やその成果が皆さまに分かりやすく伝わり、理解や共感が得られることが重要です。これまで積み上げてきた伝統を継承しながら、より一層身近な議会を目指してまいりますので、今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆さまにとって、健康で幸多き一年となることを、心からご祈念申し上げまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

※イメージパースであり、工事段階で変更となる場合があります

新庁舎実施設計が完了　～概要版を公開しています～

問合せ　新庁舎建設室（☎0562-36-2674）

このたび、新庁舎基本設計を基に、より詳細な図面などを作成する新庁舎実施設計が完了しました。実施設計の概要版は市ホームページで公開しています。

▲市ホームページ

◆設計コンセプト

1.知多市の玄関口にふさわしい　にぎわいを生み出す「ゲートプレイス」

朝倉駅周辺整備基本構想における中街区の整備方針を十分に踏まえ、知多市の玄関口にふさわしいにぎわいを形成し、将来計画の街区との整合を図りながら業務を行います。

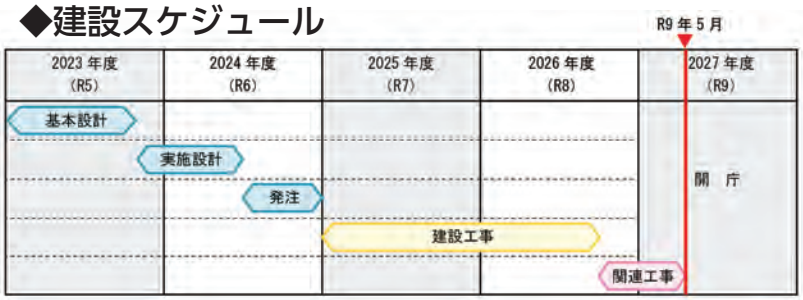
2.未来を見据えた　環境に優しく使いやすい「ワークプレイス」

新庁舎整備基本計画の目標とする庁舎像に加え、感染症対策や自治体ＤＸの推進、カーボンニュートラルなど、社会状況の変化を見据えるとともに、災害時も安心・安全で働きやすい庁舎をつくります。

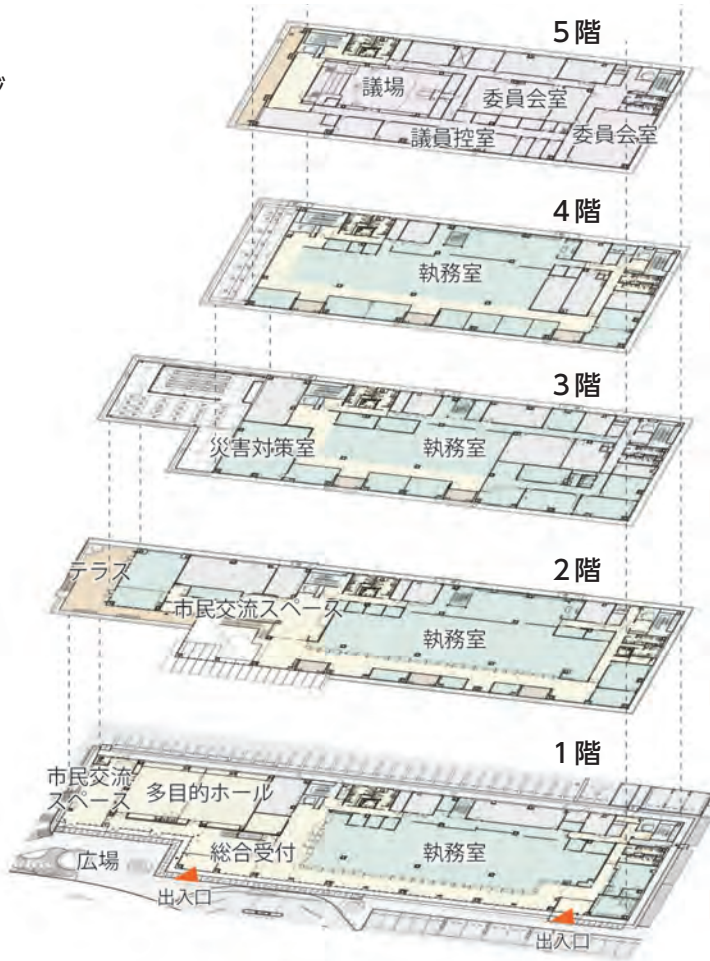
3.市民の暮らしに寄り添い　出会いと交流の場となる「サードプレイス」

市民や訪問者を温かく迎え、交流を育み、私たちの心のよりどころになる「サードプレイス」となる庁舎をつくります。

◆建設スケジュール



◆各階　平面構成図



◆施設概要など

計画地：緑町25番地１　敷地面積：約10,300㎡
延床面積：約10,794㎡　階数：地上５階
構造種別：鉄骨造　基礎免震

パブリックコメント
～市民の皆さんの意見を募集～

パブリックコメントは、事業や計画などの内容をあらかじめ公表し、皆さんから意見を募る手続きです。提出された意見を考慮し、計画などを策定します。意見は考えを添えて、内容を公開します。

募集期間　第2期知多地域成年後見制度利用促進計画(案)は1月17日(金)まで。知多市こども計画(案)は1月24日(金)まで

資料などの配布場所　下表のとおり。第2期知多地域成年後見制度利用促進計画(案)は福祉課、または長寿課でも配布。市ホームページでも閲覧できます。

▲市ホームページ

対象　市内在住、在勤、在学の方。市内の法人や団体。本市に対して納税義務がある方

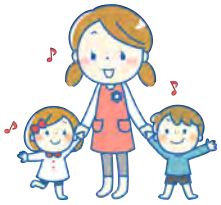
提出方法　期間内に各提出先へ、書面で直接、郵送、FAX、またはEメールで。いずれの場合も、住所、氏名(法人・団体の場合は、団体などの所在地、団体名、代表者名)を記載してください。

案件名	内容	問合せ・提出先(担当課) 資料などの配布場所
第2期知多地域成年後見制度利用促進計画(案)	成年後見制度の利用の促進に関する法律に基づく計画として、認知症、知的障害その他の障害により財産の管理、または日常生活などに支障がある者を社会全体で支え合うための計画を策定するもの	(特非)知多地域権利擁護支援センター (福祉活動センター内) (〒478-0047知多市緑町32-6) 電話　：0562-39-3770 FAX　：0562-39-3774 Eメール：info@chita-kenri.or.jp
知多市こども計画(案)	こども基本法に基づく計画として、切れ目のない子ども・子育て支援の充実と「こどもまんなか社会」の実現に向けた取り組みを進めるための計画を策定するもの	子ども若者支援課 (〒478-8601知多市緑町1) 電話　：0562-36-2656 FAX　：0562-32-1010 Eメール：kodomo@city.chita.lg.jp

7年度　一時保育事業の案内

問合せ　幼児保育課(☎0562-36-2659)

申込書配布　2/3(月)からの平日の9:00～17:00
申込書受付　2/12(水)～3/19(水)の平日の9:00～17:00
申込書配布・受付場所　幼児保育課(私立は各施設)
対象児童　市内在住の満1～5歳児



一時保育事業実施保育所など

公私	施設名	1日の定員	利用条件	利用可能日数
公立	新知	10人	就労(1日4時間以上)、妊娠・出産、疾病、介護・看護、災害復旧、就学、求職活動など、継続的、または一時的に保育を必要とする場合、緊急保育、私的事由など	15日/月 (私的事由は1日/月、土曜日不可)
公立	新田	5人		
公立	日長台	10人		
私立	ひだまりの家	5人		
私立	さざなみの家	5人		
公立	八幡	1人	緊急保育のみ ※通常保育の定員に空きがある場合だけ	3週間以内
公立	佐布里	1人		
公立	岡田西	1人		
公立	新舞子	1人		
公立	南粕谷	1人		

※ひだまりの家、さざなみの家の一時保育の詳細は、各施設に問い合わせてください。

市民税・県民税の申告

問合せ　税務課（☎0562－36－2633）

前年の実績により、市民税・県民税申告が必要と思われる方には申告書を送付します。

提出書類　市民税・県民税申告書。申告する内容によって記入項目や必要書類が異なります。詳しくは、同封する案内をご覧ください。

申告期限　3月17日(月)

その他　市が開催する確定申告会場は下表のとおり。持ち物などは、広報ちた2月号に掲載します。市民税・県民税の申告は税務課で随時受け付けています。

市が開催する確定申告会場

会場	期間
市役所（3階大会議室）	2/10(月)～3/17(月) ※土日、祝日を除く
東部まちづくりセンター	3/5(水)・6(木)
岡田まちづくりセンター	3/7(金)
旭まちづくりセンター	3/12(水)・13(木)

受付時間は9:00～11:00、13:00～16:00。混雑状況によっては受付終了時間を早めることがあります。2/9(日)以前は、市では開催しませんのでご注意ください。

住宅借入金等特別控除申告説明会

所得税、市民税・県民税の住宅借入金等特別控除は、一定の要件に該当する方が適用できます。事前に適用要件などを確認し、必要書類を説明会に持参してください。

とき　2月12日(水)～14日(金)の午前9時～午後5時

ところ　半田赤レンガ建物（半田市榎下町）

入場券　会場への入場には「入場整理券」が必要です。詳しくは、国税庁ホームページを確認してください。

問合せ　半田税務署（☎0569－21－3141）。音声案内後、「0」番を選択すると電話相談センターにつながります。

その他　源泉徴収票などの申告書作成に必要な書類やマイナポータルアプリをインストールしたスマートフォン、マイナンバーカード、マイナンバーカード発行時に設定した2種類のパスワードが必要です。

くらしの掲示板「その通販サイト本物ですか」～格安広告にご注意を～

問合せ　商工振興課（☎0562－36－2662）

なあ、ばあさんや。ここ最近「有名家電メーカーの格安掃除機を注文したら、商品が届かない、偽物が届いた」などの被害が出ているようじゃぞ。

それはどういうことですか。格安なら誰でも飛びついてしまうと思いますが…。

そうなんじゃ。格安商品を注文したら会社自体が偽物だったのじゃ。

でも注文しようとしている会社が偽物かどうかなんてどうやって見分けたらいいんですか。

それはなかなか難しいといわれておるが、見分けるポイントはいくつかあるぞ。例えば、通販会社は販売会社の名称や電話番号などの情報を正しく分かりやすく記載しないといけない決まりがあるんじゃ。他にも代金の後払いや、代引など支払方法が選べる販売会社のほうが良いとされておるぞ。不自然な日本語が使われていないかもよく確認すると良いのじゃ。

急いで注文してしまう前に、事前に会社の情報を調べてから、ということですね。

そうじゃ。まずは一呼吸置いて考えることが大事なんじゃ。

分かりました。つい最近、欲しかった掃除機を駅前の電気屋さんでおじいさんに買っていただいたので、当分通販では頼みませんけど。

そうじゃったのう。

今後、何か疑問を感じたときは、消費生活センターに聞いてみますね。でも、私はこれまで通り、まずはおじいさんに相談しますよ。

◎困ったときはすぐ消費者ホットライン☎188へ電話を！その他の相談については、25ページの「相談」をご覧ください。

(株)エフエスケー第50回市民美術展審査結果

問合せ　知多市民美術展実行委員会事務局（市民活動センター内・☎0562－31－0383）

6年11月22～24日に開催された市民美術展（出品総数290点）の上位入賞者は次の皆さんです（敬称略・順不同）。

日本画　市長賞＝吉川秀美▽議長賞＝甲斐みもり▽教育委員会賞＝中村敏安▽中日新聞社賞＝伊藤歩生

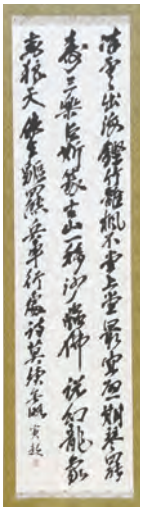
洋画　市長賞＝田口宏▽議長賞＝村松徳三▽教育委員会賞＝小嶋史子▽中日新聞社賞＝山田和子

書　市長賞＝加古寅起▽議長賞＝岩崎真寿美▽教育委員会賞＝加古稲子▽中日新聞社賞＝山本信子

彫刻・工芸　市長賞＝中村勇▽議長賞＝荻原洋子▽教育委員会賞＝髙橋栄▽中日新聞社賞＝吉川良子

写真　市長賞＝櫻井靖彦▽議長賞＝谷口寛一▽教育委員会賞＝木村裕親▽中日新聞社賞＝猪飼輝夫

絵画部門（洋画）　田口宏
《夕映えの港》



書部門　加古寅起
《呉昌碩詩》

絵画部門（日本画）　吉川秀美
《ヤシ》

彫刻・工芸部門　中村勇
《獲物の飛翔を探すハヤブサ》

写真部門　櫻井靖彦
《北斗の水くみ》

知多市二十歳のつどい

問合せ　子ども若者支援課（☎0562－36－2657）

20歳を迎える皆さん、おめでとうございます。

今年も20歳の方を対象に「二十歳のつどい」を開催します。当日は、式典に出席する20歳の若者で組織された実行委員会が運営を行います。式典には、お楽しみ企画も予定しています。

とき　1月12日（日）午前10～11時30分。受け付けは午前9時から

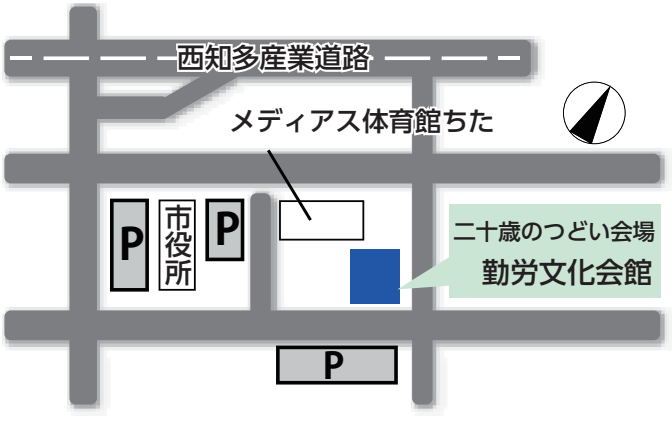
ところ　勤労文化会館

内容　式典（式辞、誓いの言葉）、実行委員会によるお楽しみ企画

対象　平成16年4月2日～17年4月1日に生まれた方。市内在住の方、転出した方で申し出のあった方には案内はがきを郵送しました。当日は、そのはがきを持参してください。

駐車場　勤労文化会館前駐車場は完全に閉鎖します。送迎も含めて利用できませんので、左図のとおり近隣の駐車場を利用してください。

▲昨年の二十歳のつどいの様子



▲会場案内図

公立西知多総合病院だより
本ページの編集・発行／公立西知多総合病院　企画課（広報担当）
〒477-8522　愛知県東海市中ノ池三丁目１番地の１
☎ 0562-33-5500（代表）　公立西知多総合病院ホームページ▶

\「いつか」に備え、救急・災害医療で地域を守る／

救急科のご紹介

救急科では、救急車を**年間5,000台以上**受け入れ、コロナ禍においては病床を確保するなど、救急医療等地域の医療提供体制の整備に貢献しています。

今後は**ドクターカー**を導入する予定です。一刻も早い治療を必要とする患者さんの元に、消防署の要請に応じて、当院の医師や看護師が駆け付けます。

災害時医療について

当院は、平成27年（2015年）に**災害拠点病院**として指定され、**DMAT**（災害派遣医療チーム）を有しています。医師・看護師・業務調整員で構成され、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、急性期（発生からおおむね48時間以内）から活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チームです。

＜当院のDMAT活動実績＞
平成28年　熊本地震
令和２年　新型コロナウイルス感染症対応
令和６年　能登半島地震

クラウドファンディング　挑戦中

６年１月、**能登半島地震**の被災地域への出動要請がありました。冬の悪天候や道路の地割れなどの悪条件が重なり、被災地や避難所に向かう道は険しくなっていました。そのため、老朽化が進んでいる当院の救急車では現地に赴くことはできないと判断し、レンタカーで現場へ向かいました。現地では搬送が必要な患者さんが多数発生していましたが、当院のレンタカーでは患者さんの搬送を行うことができず、**DMAT活動**も制限され、他のDMAT隊の後方支援に回ることになりました。

「もしもあの時、救急車で出動できていたら、もっと被災地支援に貢献できたのではないか」「もっと救える命があったのではないか」と、非常に悔しい気持ちを今でも抱いています。そこで、**救急車両の購入**を進めるため、クラウドファンディングの実施を決意いたしました。この挑戦を通して当院の**災害医療に関する取り組み**や**救急医療への想い**を知っていただく機会になればと考えております。

\ 皆さまのご支援をお願いします /

- **期　　間**　：２/14（金）23:00まで
- **寄付金受付**：1口 3000円～
- **目標金額**　：1000万円
- **支援方法**　：特設ホームページ、または当院特設ブース（総合受付付近）

※公立西知多総合病院へのご寄付は、「特定寄附金」に該当するため税制上の優遇措置を受けることができる場合があります。詳しくは、特設ホームページをご覧ください。

購入車両のイメージ図

下のQRコードからクラファンサイトへ

https://readyfor.jp/projects/nishichita-hp

公立西知多総合病院　レディーフォー

救急車両購入３つの目的

01：**ドクターカー**として地域の救急医療強化に貢献
02：病院間の**患者さんの搬送**を行い地域の医療連携に貢献
03：**災害被災地に出動**し医療提供に貢献

くらしの情報

催し

救命講習会

とき ①普通Ⅰ（120分コース）1月11日(土)午前9時30分～11時30分 ②実技救命（70分コース）2月8日(土)午前9時30分～10時40分
ところ 消防署八幡出張所
対象 市内在住、在勤、在学の中学生以上
申込み 消防署八幡出張所（☎31－0191）、または左のQRコードから
その他 ②は事前にeラーニングによる講習の受講が必要。詳しくは、市ホームページを参照

▲申込み

▲市ホームページ

市消防出初式

市内の無火災・無災害を願い、消防署をはじめ消防団、消防団防災支援隊、各企業自衛防災隊、女性消防クラブが参加し、分列行進や大型車両による一斉放水などを行います。
当日は消防車の展示やキッズ消防服を着ての写真撮影なども楽しめます。
とき 1月12日(日)午前11時～正午
ところ 南5区Ⅲ工区臨時駐車場。雨天・会場状態不良時はメディアス体育館ちた
問合せ 市消防本部庶務課（☎56－0146）

▲前回の出初式の様子

介護のしごと就職フェア

介護の事業所に限定した、就職フェアを開催します。
とき 1月13日(祝・月)午前10時～午後3時。入場は午後2時30分まで
ところ 東海市しあわせ村（東海市荒尾町）
対象 3月に卒業予定の学生や転職を希望している方、求職中の方
出展事業者 東海市、大府市、知多市、東浦町の介護事業所
問合せ 知多北部広域連合事業課（☎052－689－2263）

ウイズセミナー

輝く女性の就職応援セミナー
仕事と家庭を両立し、自分にあった働き方を学びます。スマホを使って仕事選びに役立つ自己分析をしませんか。
とき 1月24日(金)午前10時～正午
ところ ふれあいプラザ
講師 寺西佳恵（てらにしよしえ）さん（あいちマザーズハローワーク就職支援ナビゲーター）
対象 女性
定員 10人。申し込み順
託児 1歳～就学前。1家族500円。定員あり。1月15日(水)までに要予約
その他 筆記用具を持参。雇用保険受給者の方は求職活動の実績になります。

いざという時の在宅避難とおうち防災講座
災害時の在宅避難のメリットを知り、自らの身を守るために必要な備えを考えませんか。家族での参加もできます。
とき 2月15日(土)午前10時～正午
ところ ふれあいプラザ
講師 福祉救援ボランティア「こだま」
定員 20人。申し込み順
託児 1歳～就学前。1家族500円。定員あり。2月5日(水)までに要予約
申込み 1月7日(火)から左のQRコード、または男女共同参画センターウイズ（☎56－6305）

▲就職応援セミナー

▲おうち防災講座

お詫びと訂正

広報ちた12月号20ページで案内した成年後見サポーター研修講座の開催場所に誤りがありました。
正しくは「東海市しあわせ村（東海市荒尾町）」です。お詫びして訂正いたします。

☎局番案内　0562は 31,32,33,34,35,36,39,51,54,55,56,57,74,77,85,87　0569は42,43,44

精神保健福祉相談

精神科医師に心の悩みを相談できます。

とき 1月28日(火)、2月20日(木)、3月5日(水)の午後3時から
ところ 知多保健所
対象 心の悩みがある方やその家族、関係者
定員 各日3人。申し込み順
申込み 知多保健所健康支援課(☎32-1637)

総合ボランティアセンターちたミニ講座

押し花でバレンタインBOXを作ろう

押し花で飾り付けをして、バレンタインで使う箱を作ります。

とき 1月29日(水)午前9時30分~11時30分
ところ 市民活動センター
講師 押し花グループ ちた
定員 10人。申し込み順
参加費 500円
申込み 1月6日(月)午前9時から総合ボランティアセンター(市民活動センター内・☎39-0800)

児童センターの催し

▲児童センター公式Instagram

①親子でバレンタインクッキング

親子でチョコレートケーキなどを作ります。

とき 2月2日(日)午前9時30分~正午
ところ 岡田まちづくりセンター
講師 海老原景子(えびはらけいこ)さん(Ada-coda(アーダコーダ)シェフ)
対象 市内在住の小学生とその保護者
定員 12組。申し込み順
参加費 1人500円、親子で1000円(材料費)
その他 エプロン、三角巾、布巾3枚、持ち帰り用の容器、水筒を持参

②親子でおこしものを作ろう

ひな祭りにお供えするおこしものを親子で作ります。

とき 2月23日(祝・日)午前9時30分~正午
ところ 岡田まちづくりセンター
対象 市内在住の小学生とその保護者
定員 12組。申し込み順
参加費 1組500円(材料費)。当日集金
その他 エプロン、三角巾、マスク、布巾2枚、計量カップ、菜箸2膳、直径30㎝くらいのボウル(鍋でも可)、持ち帰り用の容器、水筒を持参

申込み ①は1月11日(土)、②は1月12日(日)の午前9時から直接、または電話で児童センター(ふれあいプラザ内・☎54-1535)

介護サービストラブルの法律相談

介護サービスの利用で生じた事業者とのトラブルのうち、法律問題を含む相談に応じます。

とき 2月6日(木)午後1時30分~4時30分
ところ 東浦町役場(知多郡東浦町緒川)
相談員 知多北部広域連合顧問弁護士
対象 同連合から要支援、または要介護の認定を受けた被保険者とその介護者
定員 6人。申し込み順
申込み 1月8日(水)~22日(水)の平日の午前8時30分~午後5時に相談内容を明らかにして同連合(☎052-689-1651)
その他 同一案件は3回まで

農村生活アドバイザー料理教室

市内生産野菜を使用して、本格キムチとみそ玉を作ります。

とき 2月6日(木)午前10時30分から
ところ JAあいち知多西部総合営農センター(三反田)
対象 市内在住の方
講師 県認定市内農村生活アドバイザー
定員 16人。申し込み多数の場合は抽選
参加費 1500円
申込み 1月17日(金)までに市農業振興課(☎36-2665)
その他 エプロン、三角巾を持参。キムチ1kgの持ち帰りがあります。

納税相談窓口

市税や国民健康保険税の納付書を紛失した方、納期限内に納付することが難しい方、税金を一括して納付することが難しい方は、相談してください。電話も可

とき 平日：8:30~17:15。夜間・休日窓口(休日は予約制)も開設。日時は25ページの相談を参照
問合せ 市収納課(☎36-2637)

・催しなどの記事の中で、参加費の記載のないものは無料です。
・掲載内容は、12月18日時点。今号に掲載した内容は変更となる場合があります。

催し

2024年度 若者サポートセミナー

「不登校・発達障害への理解と支援」をテーマに、誰もが笑顔で過ごせる環境づくりについて考えます。

とき 2月16日(日)午後1時30分～3時30分

ところ 青少年会館

講師 森本陽加里(もりもとひかり)さん((一社)Focus on代表理事)

対象 発達障がいや不登校、ひきこもりで困っている方、若者支援に関心のある方

定員 会場60人、オンライン50人。申し込み順

申込み 1月7日(火)～2月12日(水)に左のQRコード、または電話で若者支援センター(青少年会館内・☎36－2960)

問合せ 若者未来応援事業実行委員会事務局((一社)サポートネットゆっか・☎85－7236)

▲会場用

▲オンライン用

法務局による自筆証書遺言書保管制度講座

遺言者本人が手書きした遺言書を法務局へ預けることができる「自筆証書遺言書保管制度」について学びます。

とき 2月20日(木)午前10時30分～11時40分

ところ ふれあいプラザ

講師 名古屋法務局半田支局職員

定員 20人。申し込み順

申込み 1月10日(金)午前9時から左のQRコード、または中部公民館(ふれあいプラザ内・☎54－1535)

西知多産業道路および市道北浜金沢線の夜間通行止めのお知らせ

長浦横断歩道橋の架設工事に伴い夜間通行止めを予定しています。

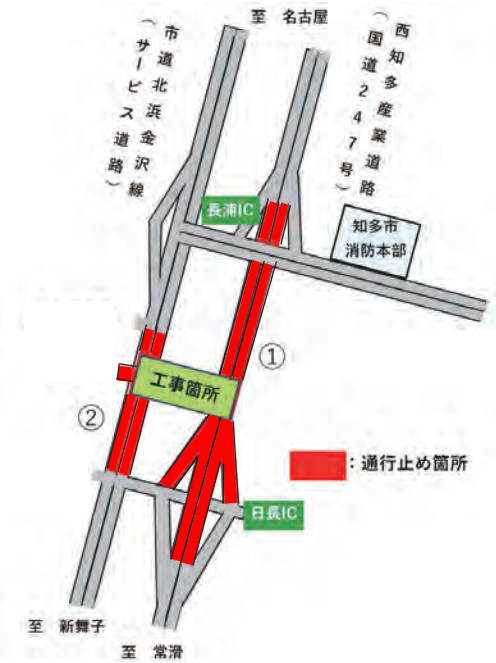
■通行止め期間(23:00～翌5:00)

①西知多産業道路(国道247号)
　1/30(木)、予備日:1/31(金)
②市道北浜金沢線(サービス道路)
　2/7(金)、10(月)・11(祝・火)、予備日:2/12(水)

■通行止め区間

長浦IC～日長IC(右図の区間)

工事期間中は西知多産業道路、または市道北浜金沢線(長浦IC～日長IC)は利用できません。迂回ルートを検討するなど、ご理解とご協力をお願いします。



問合せ 発注者:国土交通省名四国道事務所(☎052-823-7911)
施工者:UBEマシナリー(株)(☎052-693-9875)
受付時間は平日の9:15～12:00、13:00～17:00

その他 詳しくは、名四国道事務所ホームページ、SNSを参照

▲名四国道事務所ホームページ　▲名四国道事務所X

☎局番案内　0562は 31,32,33,34,35,36,39,51,54,55,56,57,74,77,85,87　0569は42,43,44

案内

2025年農林業センサス

2月1日を基準日として、一定規模以上の農林業を営んでいる全ての世帯や法人を対象に、2025年農林業センサスを行います。

農林業に関する調査で、重要な統計を作成することを目的に実施されます。調査対象となった世帯・法人には、1～2月にかけて調査員が訪問します。

問合せ 市農業振興課（☎36－2665）

介護保険事業計画推進委員会傍聴

とき 1月30日(木)午後2時から

ところ 東海市しあわせ村(東海市荒尾町)

定員 3人。申し込み順

申込み 1月23日(木)～29日(水)の平日の午前8時30分～午後5時に知多北部広域連合事業課（☎052－689－2263）

市有財産の売却　自動車

物件 ①普通乗用車＝トヨタプリウス(平成21年式)②小型乗用車＝ホンダインサイト(平成21年式)③軽乗用車＝スバルステラ(平成21年式)④軽乗用車＝スズキワゴンR(平成21年式)⑤軽乗用車＝スズキワゴンR(平成21年式)。車検満了は⑤8年6月29日、①～④は車検切れ。燃料はガソリン

資格 地方自治法施行令第167条の4第1項に規定する、自ら意思決定できない方、破産手続開始の決定を受けて復権を得ない方などに該当しない方

期間 1月20日(月)～31日(金)の午前8時30分～午後5時15分。31日(金)は午後3時まで。郵送の場合は30日(木)必着

方法 住所、氏名、電話番号、物件名と「入札書在中」と記入した封筒に、入札書(入札書提出日付、物件名、入札金額、住所、氏名、電話番号を記入し押印)を入れて封をし、市財政課へ提出。入札者の本人確認のために運転免許証などが必要

条件 落札者は、入札金額に消費税と地方消費税、リサイクル預託金を加算した金額で契約。車両は現状渡しで、引き渡し後の補償は一切行わない。買い取り後、直ちに名義変更を行い、車体の文字などを消すこと

問合せ 市財政課（☎36－2632）

その他 詳しくは、市ホームページを参照

マイナンバーカード交付窓口臨時開設

交付通知書が届いたら、必要なものをお持ちの上、来庁してください。

とき 1月5日(日)午前8時30分～正午

問合せ 市市民窓口課（☎36－2646）

宅地分譲（保留地処分）

知多新南土地区画整理組合が、宅地(保留地)を販売しています。

受付時間 平日の午前9時～午後5時。正午～午後1時を除く

申込場所 知多新南土地区画整理組合事務所(新知字大橋)

問合せ 同組合事務所（☎51－2215）

その他 画地販売状況および申し込み方法など、詳しくは下のQRコードから市ホームページを参照

償却資産の申告を

固定資産税は、土地や家屋のほか、償却資産(パイプハウス、店舗設備、太陽光発電設備などの事業用資産)にも課されます。償却資産を所有している方(個人営業、農業、不動産貸貸業の方を含む)は、その多少や異動の有無にかかわらず、賦課期日(1月1日)現在、所有している資産を所在地の市町村長に申告する必要があります。

昨年中に事業を開始した方や引き続き事業を行っている方で、申告書が届いていない方は、市税務課まで連絡してください。

期限 1月31日(金)まで

問合せ 市税務課（☎36－2635）

その他 地方税ポータルシステム(eLTAX(エルタックス))を利用して電子申告をすることができます。

特定最低賃金の改正

6年12月16日から県内の特定産業2業種で最低賃金が改正されました。

業種 ①鉄鋼業②輸送用機械器具製造業

時間額 ①1111円②1081円

問合せ 半田労働基準監督署（☎0569－21－1030）

・催しなどの記事の中で、参加費の記載のないものは無料です。
・掲載内容は、12月18日時点。今号に掲載した内容は変更となる場合があります。

募集

市庁用車の広告(定時受付)

市役所で管理する庁用車に、有料広告を掲載していただける方を募集します。

掲載期間 4月1日(火)～8年3月31日(火)で1カ月単位での申し込みから

掲載台数 軽自動車13台、普通車8台

掲載場所 前部、または後部の座席ドア両側面。両側面で1セット

掲載方法 マグネットシート、または特殊粘着フィルム(ラッピングフィルム)など取り外しが可能な素材を車体に貼り付け。広告・素材は申込者で作成

規格 1面、縦50㎝×横70㎝以内。車によって掲載可能面積が異なります。

掲載料 1セットに付き、広告掲載期間が5カ月以内は月2090円。6カ月以上は月1570円

募集期間 1月31日(金)午後5時まで

申込み 知多市庁用車(集中管理車)広告掲載申込書に次の書類を添付して、市財政課まで直接、または郵送(同日必着)で提出。FAX、メールでの提出不可

提出物 ①広告のデザインの素案②直近の納税証明書③法人は商業登記簿謄本、個人は身元証明書。②③は写し可。市の入札参加資格のある方は②③の省略可

問合せ 市財政課(☎36－2632)

その他 募集要項、申込書は同課で配布。市ホームページからもダウンロード可

▲広告掲載のイメージ

愛知建連技能専門校訓練生

職種 ①木造建築科②造園科③建築板金科④左官・タイル施工科

訓練期間 5月から①②は3年間、③④は2年間。土曜日に月3～4回、午前9時～午後5時

訓練場所 愛知建連技能専門校(碧南市汐田町)

対象 事業所に職業訓練指導員が在籍し、訓練職種に従事している30歳までの方。学歴は問いません。

参加費 事業所が負担

申込み 願書を事業所経由で3月31日(月)までに愛知建連技能専門校(☎0566－41－4523)

まちづくりセンターまつり 一般出演者

東部・岡田・旭の各まちづくりセンターを定期的に利用しているグループが中心となり、まちづくりセンターまつりを行います。

このまちづくりセンターまつりに出演いただける一般の方を募集します。

とき 3月9日(日)

演目 民謡、舞踊、ダンス、コーラス、カラオケ、詩吟など

対象 市内在住、在勤、在学の個人、団体

申込み 1月26日(日)午後5時までに各まちづくりセンターへ直接

問合せ 東部まちづくりセンター(☎34－2933)、岡田まちづくりセンター(☎55－3095)、旭まちづくりセンター(☎42－1114)

外国人児童・生徒への学用品の寄付

使わなくなった学用品などで、リユースできるものを募集します。集めた学用品は、市内の外国人児童・生徒へ配布します。

募集品目 ランドセル、園服、制服、学校指定体操服、上靴、習字セット、絵の具セット、筆記用具、ノート、裁縫道具、部活の道具など。なるべく状態の良いもので、衣類は洗濯済みのもの

受付 1月17日(金)までの平日の午前9時～午後5時に市民活動センター。土、日曜日に持参を希望する方は問合せを。ただし、年末年始は除く

問合せ 市市民協働課(市民活動センター内・☎31－0382)

縦覧

知多市公共下水道事業計画の変更

期間 1月21日(火)～2月3日(月)の平日の午前8時30分～午後5時15分

ところ・問合せ 市下水道課(☎55－9591)

その他 住民や利害に関係する方は、縦覧期間中に、市に意見書を提出することができます(郵送、または持参)。

寄付

ありがとうございました

○知多ライオンズクラブ様から一般寄付として28万7000円

○明治安田生命保険相互会社名古屋西営業部様から八幡小学校にサッカーボール2個

○(株)ヤマナカ様から緑化基金として5万9803円

☎局番案内 0562は 31,32,33,34,35,36,39,51,54,55,56,57,74,77,85,87 0569は42,43,44

相談

※相談内容の秘密は厳守します。お気軽にご相談ください。

予：予約制

○会場：市役所

法律相談 予	1/8(水)・22(水)、2/5(水) 10:00～12:00、13:00～16:00 ※1/22の予約は1/10(金)から、2/5の予約は1/24(金)から。相談は年度に1回だけ
心配ごと相談(人権・行政)	1/6(月)・20(月)　9:00～11:30
外国人相談	月・火曜日 9:00～12:00、13:00～16:00 木・金曜日 9:00～12:00
行政書士相談	1/14(火)　13:00～15:00
市民相談	月～金曜日 9:00～12:00、13:00～17:00
問合せ　市民窓口課(市民相談)　☎0562-36-2648	
教育相談	月～金曜日 9:00～12:00、13:00～16:00
問合せ　学校教育課　相談専用　☎0562-32-8070	
消費生活相談	月・火・木・金曜日 10:00～12:00、13:00～16:00 (受け付けは15:30まで) 相談専用☎0562-36-2688
ふるさとハローワーク	月～金曜日 9:30～12:00、13:00～17:00
多重債務・相続相談 予	偶数月第2水曜日　13:00～15:00
若者の職業・自立支援相談	1/8(水)　14:00～16:00
問合せ　商工振興課　☎0562-36-2662	
年金相談 予	1/29(水) 9:45～12:00、13:00～15:15 ※予約は1/6(月)から
問合せ　保険医療課　☎0562-36-2655	
納税相談・収納窓口	1/16(木)　17:15～19:00 1/26(日)　8:30～12:00 ※1/26は1/22(水)までに要予約
問合せ　収納課　☎0562-36-2637	
ひとり親家庭自立支援相談	月～金曜日 9:00～12:00、13:00～16:30
問合せ　子ども若者支援課　☎0562-36-2656	
障がい者虐待相談	月～金曜日　8:30～17:15
問合せ　福祉課　☎0562-36-2650	
住宅耐震相談 予	月～金曜日　10:00～16:00
問合せ　都市計画課　☎0562-36-2669	
在宅医療相談 予	月～金曜日　9:00～16:00
問合せ　長寿課　☎0562-36-2652	

○会場：保健センター

健康相談	月～金曜日　9:00～17:00
こころの健康相談	1/20(月)　14:00～16:00
問合せ　健康推進課　☎0562-54-1300	
在宅介護相談	月～金曜日　8:30～17:15
高齢者虐待相談	月～金曜日　8:30～17:15 ※上記以外でも電話受付可
問合せ　高齢者相談支援センター　☎0562-54-1211	
障がい者相談 予	月～金曜日　9:00～17:00
問合せ　障がい者相談支援センター☎0562-54-4800	
障がい児相談 予	月～金曜日　9:00～17:00
問合せ　障がい児相談支援事業所さんぽ　☎0562-54-4502	

○問合せ先と同じ会場

子ども・家庭相談 予	月～金曜日　9:00～16:00
問合せ　子育て総合支援センターぽぽらす　☎0562-54-1200	
若者ひきこもり相談 予	木曜日　13:00～16:00
若者就労・就労体験相談 予	水曜日　10:00～16:00
問合せ　若者支援センター(青少年会館内)　☎0562-36-2960	
女性のためのカウンセリング 予	1/16(木)　10:00～16:30 1/9(木)・23(木)　13:30～20:20
問合せ　男女共同参画センター(ふれあいプラザ内)　☎0562-56-6305	
生活困窮者自立支援相談	月～金曜日　8:30～17:15
問合せ　自立生活サポートセンター(福祉活動センター内)　☎0562-39-3060	
成年後見利用相談 予	月～金曜日　9:00～17:00
問合せ　知多地域権利擁護支援センター(福祉活動センター内)　☎0562-39-3770	
NPO・市民活動相談 予	水曜日　13:00～16:00
問合せ　市民活動室(市民活動センター内)　☎0562-31-0381	

○日にちにより異なる会場

ふくし出張相談	1/8(水)13:30～15:30：青少年会館 1/10(金) 9:30～11:30：旭まちづくりセンター 1/16(木) 9:30～11:30：ふれあいプラザ 1/17(金) 9:30～11:30：東部まちづくりセンター 1/28(火)13:30～15:30：岡田まちづくりセンター
問合せ　高齢者相談支援センター　☎0562-54-1211	

○訪問・来所相談

ひきこもり等訪問支援 予	月～金曜日　9:00～17:00
問合せ　(一社)サポートネットゆっか　☎0562-85-7236	

佐布里緑と花のふれあい公園

☎0562－54－2911
午前9時～午後5時。原則月曜日休館

《1月の催し》

味香房の料理教室
梅の実入り黒糖蒸しパン
梅ジュース付き

ときめ　毎週日曜日の午前10時～正午
参加費　700円
申込み　当日30分前まで。予約優先

みどりの工房のクラフト教室
干支の置き物

ときめ　午前10時～正午、午後1～3時
参加費　500円

味香房の料理教室

●ロール白菜
ときめ　毎週火・金・土曜日の午前10時～午後1時。2月28日(金)は除く
参加費　1600円

《2月の催し》※要予約

味香房の料理教室

●ロール白菜
ときめ　毎週火・金・土曜日の午前10時～午後1時。2月28日(金)は除く
参加費　1600円

自然観察
園内の梅の種類を調べよう

ときめ　2月1日(土)午前10～11時30分

園芸

●ご自宅の鉢を使った季節の寄せ植え
ときめ　1月31日(金)・2月1日(土)の午前10時～正午
参加費　3000円

●多肉植物の寄せ植え体験
ときめ　2月2日(日)午前10～11時30分
参加費　5000円

▲季節の寄せ植え

▲多肉植物の寄せ植え

その他　2月7日(金)は託児あり(1人500円)。1月24日(金)までに要予約

●イチからつくるおこしもの
ときめ　2月28日(金)午前10時～午後0時30分
参加費　1200円

▲ロール白菜

▲イチからつくるおこしもの

2月の催しの受付は1月7日(火)午前10時から各講座1週間前まで。自然観察は1月31日(金)まで。子ども会・PTAなど10人以上の団体に限り、講座開設日以外の日でも相談に応じます。

中央図書館

☎0562－55－4349
午前9時～午後7時。原則月曜日休館

法律セミナー
やさしい遺言の書き方

具体的な遺言の文言を示しながら、相続の基本的な知識と遺言作成上の留意点を解説します。

ときめ　2月8日(土)午後2～4時
講師　榊原雅文(さかきばらまさふみ)さん(愛知さかきばら法律事務所)
定員　30人。申し込み順
申込み　1月11日(土)から同館

生活講座「見せる・隠す」を解決する「収納とインテリア」

快適なリビング・ダイニングの維持方法について、見せる(魅せる)・隠すインテリアを解説します。

ときめ　3月1日(土)午後2～3時30分
講師　坂野民枝(ばんのたみえ)さん(インテリアコーディネーター)
共催　(公社)インテリア産業協会中部支部
定員　20人。申し込み順
申込み　1月18日(土)から同館

今月実施の催し

●お話コーナー
ときめ　毎週日曜日の午後2～2時30分

●乳幼児向けおはなしひろば
ときめ　1月9日(木)、23日(木)の午前11～11時30分

●アニメ映画会
「名犬ラッシー」の上映と上映映画に関するトークです。
ときめ　1月26日(日)午前11時～午後0時30分

今月のブック展　テーマ　浮世ゆえ華咲く江戸の世よ

江戸の武士や職人、奉公人たちの生活と暮らす家の間取りについてカラーイラストと会話形式で分かりやすく解説した一冊。もしも400年前にタイムスリップしたら、あなたはどんな家に住みますか？

書名　江戸で部屋さがし
菊地(きくち)ひと美(み)/著・絵　講談社(こうだんしゃ)/出版

☎局番案内　0562は 31,32,33,34,35,36,39,51,54,55,56,57,74,77,85,87　0569は42,43,44

こども未来館

☎0569-42-1101
午前9時～午後5時。原則月曜日休館

工作

●タイルアート（へび）（1個180円）
とき 1月31日(金)まで
内容 タイルを並べて、へびの形を作ります。

●だるまおとし（1個550円）
とき 1月31日(金)まで
内容 だるまおとしに絵をかきます。

●輪ゴムグライダー（1個100円）
とき 発売中
内容 割りばしと輪ゴムを使って、グライダーを作ります。

▲タイルアート

▲だるまおとし

▲輪ゴムグライダー

その他 工作内容は変わる場合があります。詳しくは、ホームページを参照

勤労文化会館

☎0562-33-3600
午前9時～午後9時。原則月曜日休館

ワークショップ・ちたもん遊び「梅子の大冒険をみんなで創ろう」

知多にゆかりのある写真を使って、梅子が大冒険する物語を考えて朗読してみませんか。
とき 中学生以上・大人の部＝2月1日(土)・2日(日)の午後2時30分～4時30分▽小学3～6年生の部＝2月2日(日)午前10時30分～11時30分
講師 樋口(ひぐち)ミユさん(劇作家・演出家)
定員 各部15人。申し込み順
申込み 1月7日(火)から勤労文化会館で整理券を配布

新春ロビーコンサート

尺八と箏による新春コンサートです。
とき 1月18日(土)正午から
出演 河内司(かわちつかさ)さん、小嶋夏子(こじまなつこ)さん

文化協会主催事業 吟剣詩舞道・日本舞踊発表会

とき 2月9日(日)午前10時～午後4時
主催 市文化協会
問合せ 月・水・金曜日の午前中に同協会事務局（☎33-0045）

歴史民俗博物館

☎0562-33-1571
午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）。原則月曜日休館

新春 尾張万歳実演会

国指定重要無形民俗文化財である尾張万歳の実演と解説を行います。
とき 1月11日(土)午前10～11時
定員 30人（1組4人まで）。申し込み順
申込み 1月5日(日)午前8時30分から歴史民俗博物館

文化財防火訓練

1月26日(日)の文化財防火デーにあわせて、消火訓練や消防車による放水訓練を行います。
とき 1月17日(金)午前9時30分～10時30分

▲昨年の文化財防火訓練の様子

収蔵品展「桃の節句 ひなまつり展」

地域の方から寄贈された、江戸・明治・大正時代の親王飾りや大正・昭和時代の豪華な御殿飾りなど、時代を越えて受け継がれてきたさまざまな種類のひな人形約300体を展示します。
とき 1月18日(土)～3月9日(日)

▲親王飾り（江戸時代後期）

開催期間中の催し（予約不要、無料）

●機織りなどの実演と体験
とき 期間中の日曜日の午前10時30分～11時45分
対象 機織り体験＝小学校3年生以上で、身長130㎝以上の方▽実演の見学・綿くり体験＝どなたでも可

●記念撮影コーナー「お姫さまになろう」
とき 随時
対象 小学生以下

エントランスディスプレイ 昔の学校・昔の教科書

江戸時代の寺子屋から昭和の学校までの教科書を展示します。
とき 1月18日(土)～3月9日(日)

・催しなどの記事の中で、参加費の記載のないものは無料です。
・掲載内容は、12月18日時点。今号に掲載した内容は、変更となる場合があります。

市民ファミリースキー教室説明会

とき 1月19日(日)午後7時から
ところ メディアス体育館ちた

市民ファミリースキー教室

とき 3月25日(火)午前7時出発、27日(木)午後8時帰着予定
ところ HAKUBA47(長野県北安曇郡白馬村)
内容 初心者～上級者のスキー教室
対象 市内在住、在勤、在学の方、または市スポーツ協会スキー部会員。小学3年生以下は保護者同伴
定員 45人(最小催行人数30人)。申し込み順
参加費 中学生以上3万円。小学生以下2万9000円。別途、昼食代、リフト代、レンタル代などが必要
申込み 1月19日(日)の説明会で申し込み
問合せ 市スポーツ協会スキー部事務局・平島和貴(ひらしまかずたか)(☎56－2123)

市民バスケットボール大会

とき 2月1日(土)・2日(日)の午前9時から
ところ メディアス体育館ちた
種目 一般男子・女子
対象 市内在住、在勤、在学の高校生以上で構成されたチーム
参加費 1チーム5000円。市スポーツ協会登録チームは無料
申込み 1月12日(日)午後5時までに市生涯学習スポーツ課(メディアス体育館ちた内)
問合せ 鰐部久也(わにべひさや)(☎090－4852－4883)

春季市民サッカー大会

とき 2月2日(日)、9日(日)の午前8時から
ところ ベティさんの家旭公園、石根グラウンド
対象 市内在住、在勤の高校生以上で組織されたチーム
参加費 1チーム2000円。市リーグ戦加盟チームは無料
申込み 1月23日(木)午後5時までに市生涯学習スポーツ課(メディアス体育館ちた内)
問合せ 竹内稔(たけうちみのる)(☎56－0804)
その他 1月24日(金)午後7時からメディアス体育館ちたで代表者会議

レク・インディアカを楽しむ会

とき 2月2日(日)午後6時30分から
ところ メディアス体育館ちた
対象 中学生以上
参加費 1人100円。運営委員会会員は無料

小学生バレーボール卒業大会

とき 2月22日(土)午前9時から
ところ メディアス体育館ちた
種目 6人制
対象 市内在住、在学、または市スポーツ協会に所属する選手で構成されたチーム
参加費 1チーム2000円
申込み 1月29日(水)午後5時までに市生涯学習スポーツ課(メディアス体育館ちた内)
問合せ 森脇丈寛(もりわきたけひろ)(☎090－9125－4614)
その他 1月29日(水)午後7時からメディアス体育館ちたで事前会議

▲大会のイメージ

申込み 当日会場
問合せ 福島豊(ふくしまゆたか)(☎55－5406)
その他 初心者歓迎。組み合わせは当日会場

☎局番案内　0562は 31,32,33,34,35,36,39,51,54,55,56,57,74,77,85,87　0569は42,43,44

第100回記念 市民バドミントン大会団体戦

とき 3月2日(日)午前9時から
ところ メディアス体育館ちた
種目 団体戦(1～4部)。チーム編成などは主催者で決定
対象 市内在住、在勤、在学、在チームの中学生以上の方
参加費 1人1500円
申込み 2月20日(木)午後5時までに市生涯学習スポーツ課(メディアス体育館ちた内)
問合せ 吉川慎吾(☎0080-3078-1336)
その他 参加賞、抽選会あり

メディアス体育館ちたに多目的室・冷暖房設備を設置

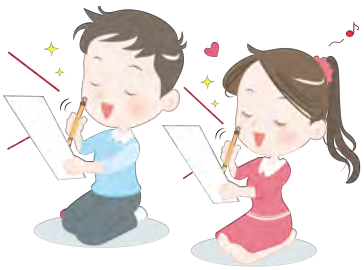
メディアス体育館ちたの旧トレーニング室が、ダンスやその他の用途に使用できる多目的室になります。また、卓球場、剣道場、柔道場に冷暖房設備を新たに設置します。

供用開始 4月1日(火)から
予約受付 4月利用分は、1月5日(日)から各予約窓口で受付開始
問合せ 市生涯学習スポーツ課(メディアス体育館ちた内)
その他 利用料金など、詳しくはホームページを参照

新春スポーツ川柳を募集※

メディアス体育館ちたと知多運動公園では、スポーツを愛好する市民の皆さんを対象に新春スポーツ川柳を募集します。日頃のスポーツでの出来事や今年の目標、その他スポーツに関することをユーモアあふれる川柳にして応募してください。

募集期間 1月7日(火)～26日(日)
応募方法 メディアス体育館ちたや運動公園クラブハウスで配布する応募用紙に川柳を記入し、窓口に提出。一人3句まで応募可
表彰 優秀作品には、ノベルティ贈呈。発表は2月中旬を予定
問合せ メディアス体育館ちた(☎33-3361)、または知多運動公園(☎32-4831)
その他 詳しくは、ホームページを参照



ありがとう
「ステキなお墓ができたね」
そう言われる、お墓づくりのことなら

創業昭和2年
知多市大興寺の
お墓ディレクターと熟練職人のいる専門墓石店
石の店 いながき
知多墓園を再現したショウルーム完備
1.工事規定に合格するサイズが確認できる
2.お墓づくりに必要な総予算がよく分かる
3.さわって・歩いて・しゃがんで・体験できる
●お墓じまい
●お墓の引っ越し
●クリーニング
●ペイント入れ直し
●コーティング
●戒名の追加彫刻
●修理、改修工事
●墓石用地震ゲル
●納骨式サポート
●各宗納骨袋販売
まずは電話で相談したいお客様は
フリーダイヤル 0120-1483-22
お電話で(10時～17時)
水曜・第1.3.5木曜日定休
24時間受付
車でご来店
FAX.0562-56-5223 E-mail/info@stone-world.co.jp
「知多市大興寺字長根90-1」とカーナビに入力して下さい

広報ちたへ掲載する広告を募集しています。問い合わせは市秘書広報課(☎36-2642)

・催しなどの記事の中で、参加費の記載のないものは無料です。
・掲載内容は、12月18日時点。今号に掲載した内容は変更となる場合があります。
※は指定管理者自主事業

◆ 妊産婦のための相談　申し込み順(定員あり)

種　別	受付時間	ところ	対　象
産前産後サポート相談	平日　13:30～14:30	親子ひろば会場※1	妊婦と産婦、乳児

※1　月…子育て総合支援センター、火…青少年会館、水…亥新田公会堂、木…ベティさんの家旭公園体育館、金…ふれあいプラザ

◆ 乳幼児のための相談

申し込み順(定員あり)。虫歯予防教室、離乳食講習会(後期)は電話予約に加えて、市公式LINEからも予約ができます。

▲虫歯予防教室　▲離乳食講習会

種　別	受付時間	ところ	対　象
乳幼児育児相談	平日　10:00～11:00	親子ひろば会場※2	就学前の乳幼児と保護者
虫歯予防教室	2/27(木)　13:15～14:15	保健センター	就学前の幼児
離乳食講習会(後期)	2/28(金)　9:45～10:00		6年7月生まれの乳児と保護者

※2　月…子育て総合支援センター、火…亥新田公会堂、水…青少年会館、木…ふれあいプラザ、金…ベティさんの家旭公園体育館

◆ 予防接種

生後2カ月ごろ(就学後は対象学年)に予診票綴などを送付。予診票のない方は、保健センターまで

食改さん考案！

お家でできる　おすすめレシピ

おろしれんこんの落とし焼き

冬が旬のれんこんを使ったメニューです。

カリウム豊富で高血圧予防に効果的。食物繊維が多く、便秘の改善にも役立ちます。とても簡単なので、献立にもう一品足したい時や、作り置きにもおすすめです。もちもち食感をお楽しみください。

作り方

①れんこんは皮をむいてすりおろす。
②カットねぎに片栗粉をまぶす。
③①に②と削り節、塩を加えて混ぜる。
④③を8等分して円盤形にまとめる。
⑤フライパンにサラダ油を入れて中火で熱し、④を並べて蓋をして3～4分焼き、裏返して2～3分焼く。

材料(4人分)
れんこん300g、カットねぎ30g、削り節4g、片栗粉大さじ1と1/3、塩少々、サラダ油大さじ1と1/2

栄養価(1人分当たり)
エネルギー：107kcal、たんぱく質：2.3g、脂質：4.6g、塩分：0.2g

食改さんとは･･･知多市健康づくり食生活改善協議会の略称。「私たちの健康は私たちの手で」をモットーに、食を通して健康の大切さを伝える活動をしています。
食改さんのおすすめレシピは右のQRコードから！

Happy Birthday うちのスタアを紹介します

安江舞桜ちゃん　(清水が丘)
令和６年１月１日生

佐藤冬耶ちゃん(上)　(日長)
令和４年１月31日生
下は兄の夏汰ちゃん

宮本留茉ちゃん　(原)
令和６年１月19日生

山下礼蒼ちゃん　(にしの台)
令和６年１月17日生

山田龍征ちゃん　(巽が丘)
令和６年１月22日生

小嶋結ちゃん　(八幡)
令和５年１月４日生

富田唯斗ちゃん(右)
彩斗ちゃん(左)(南粕谷)
令和４年１月28日生

竹内玖椰ちゃん　(南粕谷)
令和６年１月10日生

片山楽ちゃん(左)　(大興寺)
令和６年１月22日生
右は姉のつばさちゃん

竹内瑠良ちゃん　(金沢)
令和６年１月３日生

内藤大翔ちゃん　(寺本台)
令和５年１月19日生

３月生まれのお子さん(1～3歳)写真募集!!

掲　載　７年３月号　　締め切り　１/21(火)
応募方法　写真データ(おおむね500KB～2MB)とお子さんの氏名、ふりがな、生年月日、住所(大字まで)、保護者の氏名、電話番号を秘書広報課にメール(kouhou@city.chita.lg.jp)で送信。
問合せ　秘書広報課(☎0562-36-2642)
その他　未掲載の方を優先します。応募多数の場合は抽選で掲載。

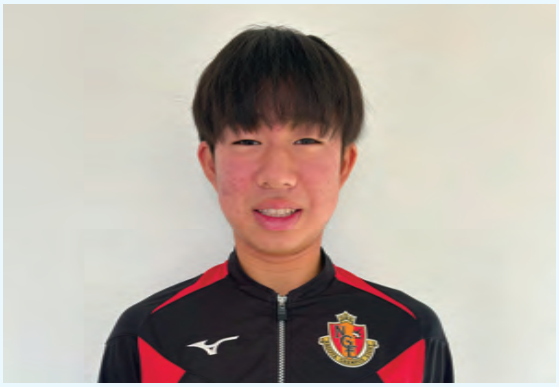
出場おめでとう

文部科学大臣杯第18回JKJO全日本ジュニア空手道選手権大会へ出場＝左から除地蘭虎さん（東部中３年）、柳井星七さん（知多翔洋高校3年）。除地さんはフルコンタクト空手道空武會所属。柳井さんは空身館所属

第12回全日本ジュニアチャンピオンシップ空手道選手権大会へ出場＝左から大串響輝さん（八幡小５年）、鰐部瑛南さん（佐布里小６年）、渡瀬隼さん（知多中１年）、赤峯奏太さん（同中１年）。大串さんは日本実践空手道七州会所属。鰐部さん、渡瀬さん、赤峯さんは空身館所属

Summer Style Award決勝大会へ出場＝竹内謙治さん（にしの台）。健遊所属

モデルジャパン2024へ出場＝松田賢明さん（岡田）



高円宮杯JFA第36回全日本U-15サッカー選手権大会へ出場＝山口雅貴さん（旭南中３年）。名古屋グランパスU-15所属

第52回マーチングバンド全国大会へ出場＝左から田中柚咲さん（知多中１年）、立仙果歩さん（椙山女学園中１年）

10/8(火) 機動力を生かして災害時に協力

中部キッチンカー協会と協定を締結

市と(一社)中部キッチンカー協会は、災害発生時、または災害が発生するおそれがある場合に、避難所開設が困難な地域でキッチンカーによる炊き出しを行うことを目的として、物資の供給等に関する協定を締結しました。

石川勝志(いしかわかつし)代表理事は、「災害時にしっかり対応できるよう準備をして、できる限りの協力をしていきたいと思います」と話しました。

入賞おめでとう

第23回全国障害者スポーツ大会(SAGA2024)＝左からバスケットボール競技で準優勝した久野雅人(くのまさと)さん(佐布里台)、水泳競技25m自由形と50m自由形で優勝した腰嶋太陽(こしじまたいよう)さん(名古屋医健スポーツ専門学校2年)

10/26(土) 知多市の魅力を再発見

第52回知多市産業まつり

知多市役所付近を会場に、産業まつりが開催されました。

「再発見！知多市の産業いいところ」をテーマに開催され、出店や企業テントなどが並び、目当ての品に行列をつくる買い物客でにぎわいました。

屋外ステージでは、ふるさと観光大使のかとう寛之(ひろゆき)さんのミニライブなどが行われ、にぎやかな音楽に来場者は足を止めてステージを楽しんでいました。

10/19(土) 秋を楽しむ特別な体験

秋のフェスティバル

佐布里緑と花のふれあい公園で、秋のフェスティバルが開催されました。

会場では、ポップコーンを作る料理体験や竹けん玉、スウェーデントーチを作る工作体験などが用意されたほか、ヤギやモルモットなどのかわいい動物と触れ合える移動動物園も開催されました。

クラフト体験に参加していた小学生は、「バスケットのクラフトは、どんぐりの子どもが森に遊びに来ているイメージで作りました」と話しました。

11/2(土) 秋の夜空を彩る大輪の花火

新舞子花火大会

８月に台風10号の影響で中止となった新舞子ビーチフェスティバルの代替イベントとして新舞子花火大会が開催され、多くの観客でにぎわいました。

秋の夜空を彩ったのはおよそ1800発の花火。雨天での打ち上げになるかと思われましたが、開始１時間前には雨がやみ、音楽とシンクロさせたミュージック花火などが盛大に打ち上げられました。観客からは「きれい！」「すごい！」という声とともに、たくさんの拍手が送られました。

11/1(金) 自ら挑戦する大切さを学ぶ

中学生海外派遣事業帰国報告会

中学生海外派遣事業で、ニュージーランドのクライストチャーチ市に派遣されていた市内中学校の３年生12人が、現地での生活や交流の様子を発表しました。

報告会では、今回の海外派遣で感じたことなどを英語と日本語で話し、「英語の魅力を学んだ。もっと英語を頑張りたい」「自ら挑戦する大切さを学んだ」「ホストファミリーの温かさに触れ、この縁を大切にしていきたいと思った」などと振り返っていました。

内容　八幡チームオレンジが、認知症の方と一緒にカレーマルシェを開催。１食200円(限定50食)で、売り切れ次第終了
問合せ　平日の8:30～17:15に知多市高齢者相談支援センター(☎0562-54-1211)
その他　カレーに使用する野菜を募集。協力していただける方は、1/17(金)13:00～14:00に八幡コミュニティセンターまで

知多市やまももおやこ劇場

①小学生親子対象「サーカスの灯」ラストラーダカンパニー
②０～18カ月親子対象(20組限定)「KUUKI」児演協
とき　①1/19(日)14:00から②1/26(日)10:30から
ところ　①勤労文化会館②こども未来館
内容　①和紙と光を使った幻想的な空間で、２人のクラウンが織りなす無言劇②アコーディオンの生演奏と２人のダンサーによる、ベイビーの好奇心を刺激する作品
問合せ　火～金曜日の10:00～14:00に知多市やまももおやこ劇場(✉yamamomo.oyako@gmail.com・☎0562-77-3100)
その他　①は入会金1300円、月会費1300円を添えて申し込み。②は右のQRコードから、事前に申し込みが必要

胎内記憶「ママを選んで生まれてきたよ」のDVD鑑賞＆お話し会

とき　1/21(火)10:00～11:30
ところ　ふれあいプラザ
内容　産婦人科医と胎内記憶を語る子どもたちのDVD鑑賞とお話し会
対象　妊婦や子育て中の親子、興味のある方
参加費　300円
申込み　きらりんママ応援隊　西尾(にしお)
その他　子どもが参加する場合は、お気に入りのおもちゃを持参

ちた半島演劇鑑賞会１月例会 ピュアーマリー「殺しのリハーサル」

とき　1/23(木)18:30から
ところ　勤労文化会館
内容　「刑事コロンボ」の生みの親、レビンソン＆リンクの作品。恋人だった女優の死を、劇作家が新作の稽古と称して暴いていく。心地よくだまされた快感に胸が躍る、珠玉の人間ドラマ
問合せ　ちた半島演劇鑑賞会(☎・FAX0562-77-9392)
その他　入会金3500円と月会費(一般3000円、29歳以下2000円、中高生1500円)が必要。当日入会歓迎

わがまち イチ押し グループ

ラビ新体操クラブ

名古屋市にある新体操クラブに講師を依頼し、3歳～高校生までの15人が所属する新体操クラブ。土曜日(月3回)の14:00から、市内の体育館などで活動。さまざまなイベントで日ごろの成果を発表している。

問合せ　岡部(☎080-4229-0937)

どんなクラブですか

年少から小学1年生までのキッズクラスと、小学2年生以上のジュニアクラスが、一緒に仲良く新体操を行っています。

新体操では、バレエの基礎的な要素を取り入れながら、リズムに合わせて楽しく体を動かすことで、柔軟性や美しい体の動きが身に付きます。ボールやロープ、フープ、リボン、クラブの操作や、ステップ、柔軟、自然運動など学ぶことがたくさんあるので、飽きないのも新体操の魅力です。音楽に合わせてさまざまな演技ができるよう、みんなが一丸となって頑張っています。

毎年、未来館まつりなどのさまざまなイベントで日ごろの成果を発表しています。大会を目指したい方は、名古屋の新体操クラブに進むこともできます。

クラブの特徴

3歳から高校生までが一緒になって練習を行っていますが、練習内容はクラスのレベルに合わせて行います。下級生が上級生の姿に憧れて上達し、上級生は下級生の見本にならなくてはと切磋琢磨するので、部員同士で良い関係が築けていると思います。お互いを思いやる気持ちやあいさつなども大切にしているので、みんな仲が良いです。

PRをどうぞ

個人のレベルに合わせて、誰でも楽しく新体操を学ぶことができます。新体操ではさまざまな動きを学ぶので、集中力が付き、充実した時間を過ごせると思います。

現在、新入部員を募集しています。興味を持った方は、気軽に見学にお越しください。私たちと一緒に新体操を始めてみませんか。

活動をPRしませんか？

団体の活動内容や、PRポイント、連絡先などを広報(✉kouhou@city.chita.lg.jp)まで送ってください。後日、広報担当が取材に伺い、記事として紹介します。

ふゅうちゃん掲示板

3月号の申し込みは1/7(火)～21(火) ※期間外の応募は不可

■透明水彩「ちた空絵」作品展

とき　1/7(火)～12(日)の10:00～16:00。初日は13:00から、最終日は15:00まで
ところ　佐布里緑と花のふれあい公園梅の館
内容　市民大学ちた塾出身者のサークル「ちた空絵」による、風景や花などを題材に描いた水彩画を展示
問合せ　杉田

■岡田の景観「書画写真展」

とき　1/11(土)・12(日)の9:00～16:00
ところ　岡田まちづくりセンター
内容　小学生から一般の方までの書、画、写真約800点を展示
表彰式　1/11(土)10:00から
主催　岡田街並保存会、岡田コミュニティ
後援　中日新聞社、市観光協会
問合せ　岡田街並保存会(☎090-7619-9050)

■岡田の街並みと門付万歳

とき　1/12(日)13:30から約1時間
ところ　おかき屋辰心→SoN→木綿蔵ちた→桝磯→慈雲寺
内容　ガイドとともに岡田の古い街並みを巡りながら、玄関先で披露される門付万歳を鑑賞
主催　岡田街並保存会
協力　尾張万歳保存会
問合せ　岡田街並保存会(☎0562-56-4722)、歴史民俗博物館(☎0562-33-1571)
その他　集合場所は木綿蔵ちた。小雨決行

■みんなで考える防災！Bフェス

とき　1/13(祝・月)9:00～11:00
ところ　勤労文化会館
内容　被災者の体験談や防災実験、防災遊び、命を繋ぐロープ結び講座、防災笛作り、災害時の液体ミルクの使い方など、防災を楽しく考えるイベント。協賛企業から防災グッズのプレゼントあり
問合せ　総合ボランティアセンター(☎0562-39-0800)
その他　詳しくは、イベントのインスタグラムを参照

■心あたたまる一皿 カレーマルシェオレンジ

とき　1/19(日)11:30～14:00
ところ　八幡コミュニティセンター

※投稿は、市内で市民が開催するものに限ります。　※応募多数の場合は申し込み順で掲載し、掲載の可否は通知しません。
※紙面の都合上、原稿を省略する場合があります。　※掲載した内容は、変更となる場合があります。
秘書広報課(広報)　FAX0562-33-8297　✉kouhou@city.chita.lg.jp

広報ちた　第1387号　発行／知多市　編集／秘書広報課
〒478－8601　愛知県知多市緑町1番地
☎0562－33－3151（代表）
FAX0562－32－1010

シリーズ 輝人（かがやきびと）

No.45

何度でも壁を乗り越え、金メダルを目指す
久野雅人（くのまさと）さん（佐布里台）

プロフィール

平成６年生まれ。幼少期に発達障がいが判明し、小学５年生の時にバスケットボールに出会う。

会社員として働く傍ら、バスケットボールを約20年間続け、６年10月末に佐賀県で行われた全国障害者スポーツ大会では準優勝の成績を収める。これまで同大会で３回の準優勝と、２回の３位入賞を果たした。ポジションはセンター、フォワード。

私は幼い頃に発達障がいの診断を受けました。多動気味で落ち着きがなかったり、話すのが人より遅かったりする特性があります。それでも何かスポーツをしたいと思っていた時に、小学５年生の課外授業でバスケットボールに出会いました。

学生の頃は貧血による体力不足に悩まされ、高校生の時に治療して克服しました。社会人になってからは、全国大会前に膝靭帯を損傷して２カ月間練習することができず、直前の猛練習でなんとか間に合わせたこともありました。一つ壁を乗り越えるとまた新しい壁が現れるような競技人生です。

現在は会社員として働きながら、春日井市の春日井クラブに所属しています。毎月２、３回のチーム練習に加え、仕事終わりには毎日ランニングをして日ごろから体力づくりに励んでいます。会社もバスケットボール選手としての活動を応援してくれており、昨年は社内のイベントで全国大会出場を表彰していただきました。職場のみんなが「新聞に載っているのを見たよ」「全国大会がんばってね」と声を掛けてくれることがうれしく、モチベーションになっています。

今後の目標は、全国大会でまだ取れていない金メダルを取ることです。今では年長者としてチームメイトをまとめる立場になりましたが、まだまだ体が動く限りは現役の選手としてバスケットボールを続けていきたいです。

自分と同じようにハンデを抱えている人はたくさんいます。自分が競技に取り組む姿が、そのような人たちにとって何かやってみようと思えるきっかけになったらいいなと思います。

▲競技中の久野さん

この写真がお気に入り!!　私の1枚

投稿募集中!!

「謹賀新年」　撮影：土井章義（どいあきよし）さん
（撮影場所：金沢）

投稿方法は次のいずれか

- 氏名（ペンネーム可）と写真のテーマを記載し、写真データを秘書広報課 kouhou@city.chita.lg.jp まで送信
- 秘書広報課まで写真をご持参
- Instagramで「＃ちたスタグラム」を付け投稿

▶詳しくはこちら

知多市公式ホームページ
https://www.city.chita.lg.jp

広報ちたは、スマートフォンアプリ「マチイロ」でも閲覧できます。

広報ちたはユニバーサルデザインフォント（多くの人にわかりやすく、読みやすいよう工夫された書体）を使用しています。